

■阿部貞行(茂兵衛) 郡山の豪商で、安積開墾の中條政恒を援け、開成社を組織し、近代郡山の基礎をつくった。

あべさだゆき

日本外史・・・1827＝ 郡山中町で、豪商阿部貞命の子に生まれ、虎吉と名づけられる。

富籤流行・・・1830＝ 3歳：生母が死去。

天保大飢饉始1833＝ 6歳：大雨洪水の大凶作穀留令で、父が貧民施米。阿部貞宜も米と金を施す。以後も毎年のように災害。

滑稽+人情本 1835＝ 8歳：阿部貞宜、祖父阿部貞明没す。

・・・・・・1836＝ 9歳：大暴風雨、永雨にて大凶作、岩瀬郡、田村郡内で逃散、騒動。父貞命貧民に金200両、米160俵代を施す。

大塩平八郎乱1837＝10歳：

蚕社の獄・・・1839＝12歳：郡山吉兵衛火事、阿部家焼け残る。罹災者へ150両を施す。

天保改革始・・・1841＝14歳：虎吉を徳兵衛と改める。

順天堂始・・・1843＝16歳：大洪水本宮被害。父貞命石刈八作内普請金60両献納。

阿部正弘首座1845＝18歳：

・・・・・・1847＝20歳：長女セキ生れる。

国定忠治疎・・・1850＝23歳：三次女セキ誕生。

万次郎帰国・・・1852＝25歳：大水洪水により、福原村南小泉村に新河原を貸す。

ペリー来航・・・1853＝26歳：長男亀太郎誕生。

開国開港・・・1854＝27歳：

松下村塾・・・1856＝29歳：二男恒蔵誕生。

蕃書調所・・・1857＝30歳：家督を相続、茂兵衛と改める。凶作年にて貧民を賑す。

五ヶ国条約・・・1858＝31歳：領内に御用金上納令出る。洪水、コロリ病流行。不作。

安政の大獄・・・1859＝32歳：三女サト誕生。

桜田門外変・・・1860＝33歳：

遣欧使節・・・1861＝34歳：旱魃、永雨にて不作実価高騰、米40俵を貧民に施す。

生麦事件・・・1862＝35歳：四女エチ誕生。宮下御殿、姫君婚礼上納金出す。

8月18日政変 1863＝36歳：

禁門の変・・・1864＝37歳：水戸騒動二本松藩兵、御用金上納。三男万之助誕生。

薩摩藩士密航1865＝38歳：二本松藩江戸、さらに京都警衛上洛、御用金上納金貸上金を命ずる。

薩長同盟・・・1866＝39歳：不作、貯米、金銭貧民に施す。

明治維新・・・1868＝41歳

奥羽鎮撫軍仙台に入り、郡山に繰込む。奥羽越列藩同盟と激戦。郡山世直し一揆騒動、各村に波及する暴徒も、茂兵衛宅には手を出さず。二本松藩降伏。藩主謹慎。茂兵衛藩主へ100両、鯉節300本献上。茂兵衛等奔走、郡山復旧。四男豊吉誕生。鈴木信教を如宝寺住職に招聘。

戊辰戦争終・・・1869＝42歳：貧民に代金換算690両の米を施す。鳴原、永戸等の生産方を命じられ、辞退するも許されず。

初の日刊新聞1870＝43歳：貧民に米を安売り。*生産方を廃し、生産会社と改め、頭取に就任。値安米換金180両三分施しにつき県庁褒賞、嫡子亀太郎苗字帯刀御免。旧陣屋跡に平家建の学校を建てる。父が死去。

藩置県・・・1871＝44歳：長男・四男が死去。他の富商14人とともに質屋営業を命じられる。地券調べ資金調達が生産会社に一任。

学問のすすめ1872＝45歳：生産会社物産方と改正。阿部恒蔵貞容、茂兵衛相続人と定める。

明治6年政変 1873＝46歳：*大槻原開墾茂兵衛等五人協力出資を誓い、用池工事始まる。開成社結社願書を出す。

佐賀の乱・・・1874＝47歳：開成社結社願と社則九五条を提出する。開墾着々と進行する。二本松藩士族19戸、大槻原に住居。

初の民間工場1875＝48歳：第十区会所落成(開成館)。開成学校開校。開成社規則認可される。郡山学校建築掛代表となる。

三つの反乱・・・1876＝49歳：大槻原開墾が「桑野村」の名で独立。県庁より茂兵衛ら開成社員、関係者表彰される。大久保利通内務卿先行として巡視。明治天皇行幸。茂兵衛ら社員一同その労を賞される。郡山学校に巡幸、木戸孝允「金透学賞」の校号附与。県社開成山大神宮分霊鎮座式を行う。

西南戦争・・・1877＝50歳：有栖川宮熾仁親王書開成山大神宮奉額式。政府士族授産開墾、安積郡に決定。久留米開墾入植。

琉球処分・・・1879＝52歳：*開成社小作人をめぐる県、桑野村三者間の問題表面化。開墾地が郡長管轄下に入る。茂兵衛、清左衛門ら小作人問題で白河裁判所に召喚。県庁貸付金5000円を返納する。勸農局仮出張所設置され、奈良原繁赴任。開成山大神宮前にて伊藤博文内務卿、松方正義勸農局長列席し、安積疏水起業式。

・・・・・・1880＝53歳：桑野小学校開校。農学校開設。信頼厚く開墾に精根を捧げ病に倒れた阿部長助死去。諸藩士が続々入植。

明治14年政変1881＝54歳：火災を機会に、村会議長として街区整備、消防組改正を決定。天皇桑野村巡覧、一同賞詞をうける。

新体詩抄・・・1882＝55歳：*開成社山林払下げ問題につき郡長、桑野村側と紛争おきる。茂兵衛、各開墾社代表による最初の移庁建議を提出。三島県令安積郡内巡視。安積疏水通水式を行う。岩倉右大臣、徳大寺宮内卿、松方大蔵卿、西郷農商務卿はじめ政府高官参列。福島事件発生。

岩倉具視没・・・1883＝56歳：病臥し、顯官の見舞いが続くなか、

秩父事件・・・1884＝57歳：県庁移転問題盛んとなり、趣意書を各方面に配り猛運動する。郡山農学校桑野村開成館に移る。

内閣発足・・・1885＝58歳：没した。

田中正能「阿部茂兵衛」、